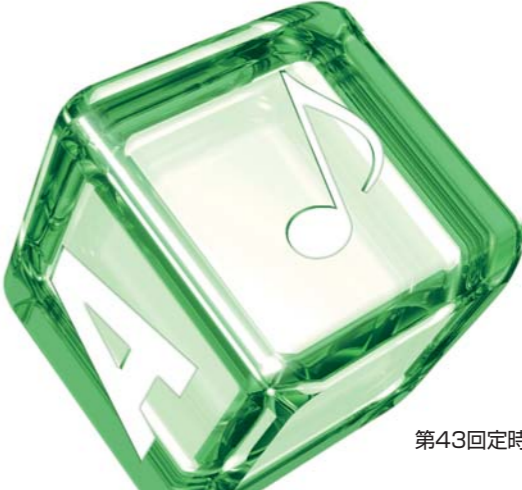




Driving Mobile Media Solutions

アルパイン株式会社
www.alpine.com



Alpine Report

第43期事業報告ハイライト



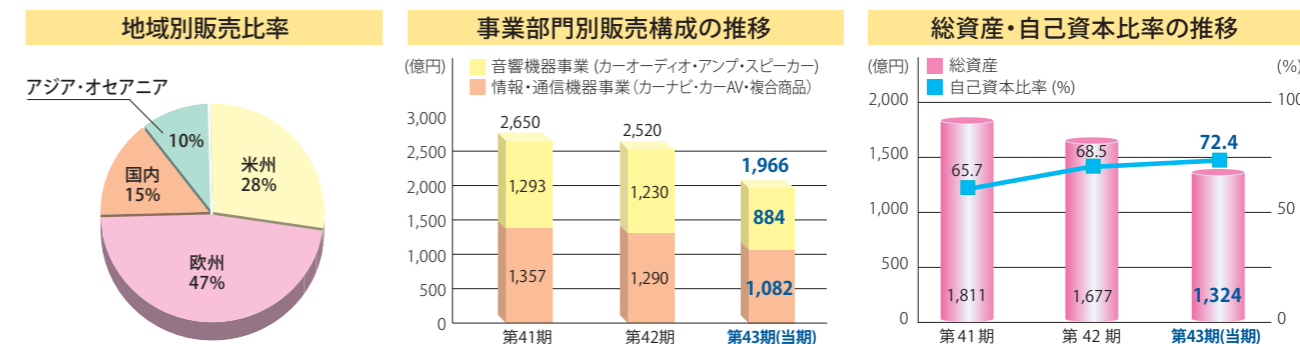
Contents	1
実績報告 経営指標ハイライト	2
実績報告 市場環境の変化	3
今後の施策 事業計画の再設定	4
今後の施策 CHALLENGE30+(プラス)の推進	5
今後の施策 成長戦略	6

Driving Mobile Media Solutions™
 モービルメディアの未来価値へ



主要経営指標の推移(連結)			
	第43期(当期) 2008年4月1日～2009年3月31日	第42期(前期) 2007年4月1日～2008年3月31日	前期比増減
売上高	1,966 億円	2,520 億円	22.0%減
営業利益	▲106 億円	70 億円	—
経常利益	▲50 億円	64 億円	—
当期純利益	▲92 億円	35 億円	—
1株当り当期純利益	▲133 円 17 銭	50 円 95 銭	—
総資産	1,324 億円	1,677 億円	353 億円減
自己資本比率	72.4%	68.5%	—
流動比率(※)	246%	215%	—
流動資産	751 億円	1,037 億円	286 億円減
流動負債	304 億円	482 億円	177 億円減
ROA	▲6.2%	2.0%	—

※流動資産 ÷ 流動負債 × 100



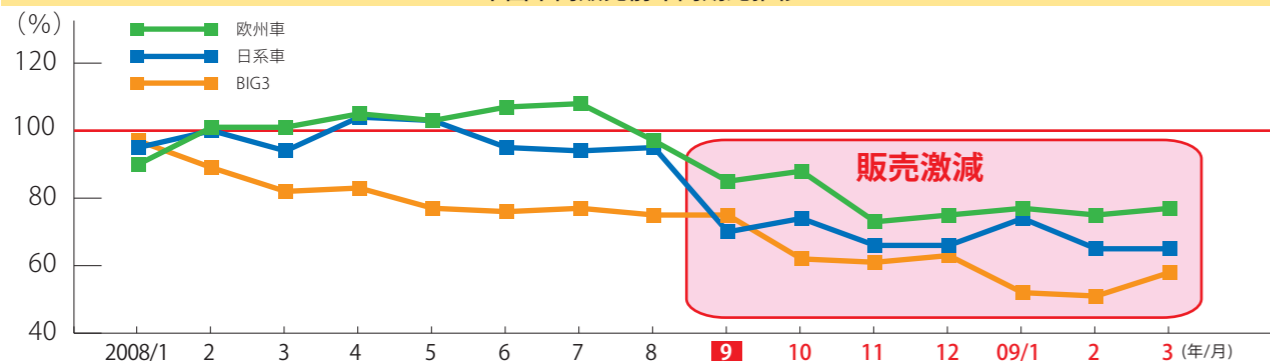
(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨て表示しています。

市場環境の変化

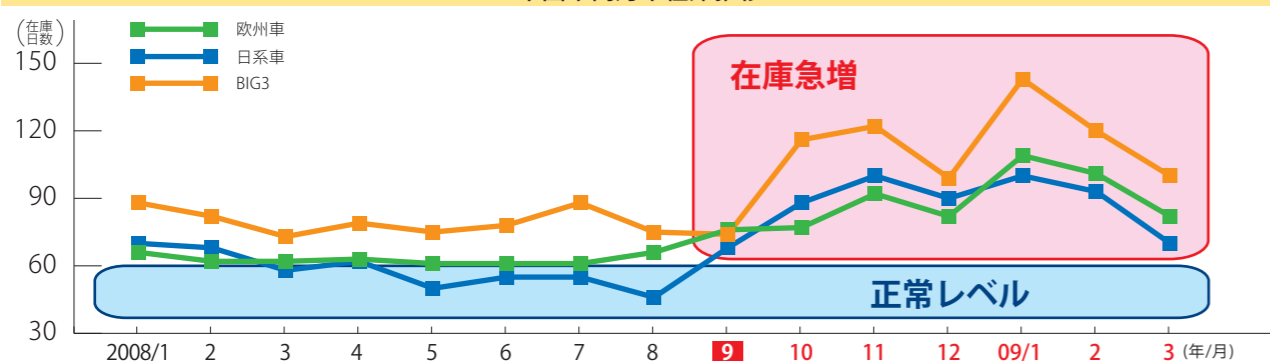
自動車市場の激変

当期の世界経済は米国に端を発した金融不安を引き金に、全世界同時不況へと突入し、好調を持続してきた自動車販売も、下期以降大幅減少し、在庫も急増するなど、全世界の自動車産業は未曾有の状況に陥りました。

米国車両販売前年同期比推移



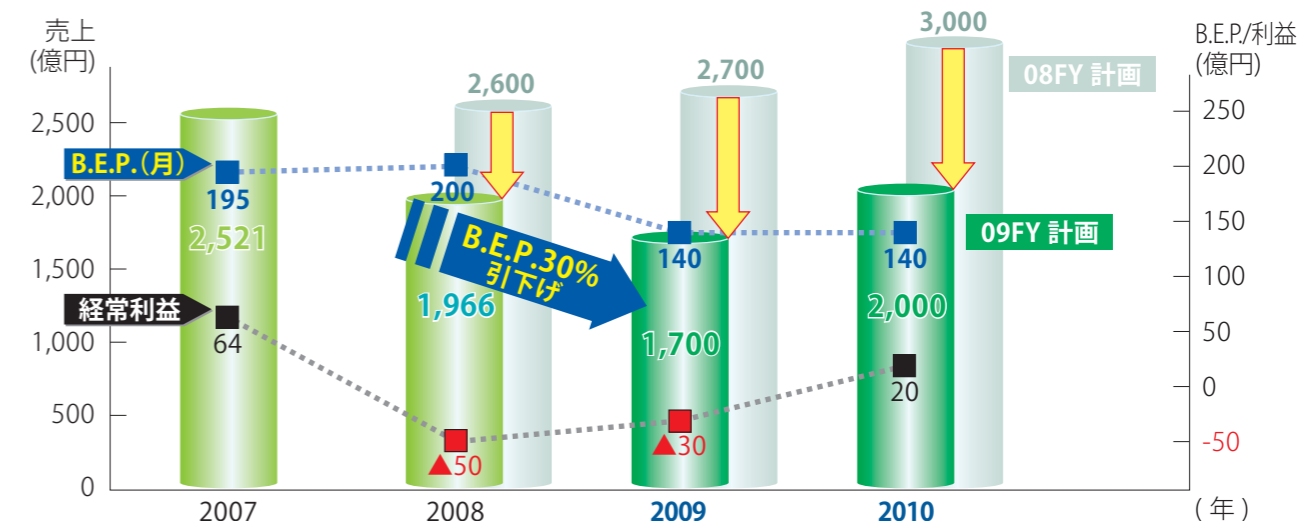
米国車両月末在庫推移



事業計画の再設定



事業計画の再設定

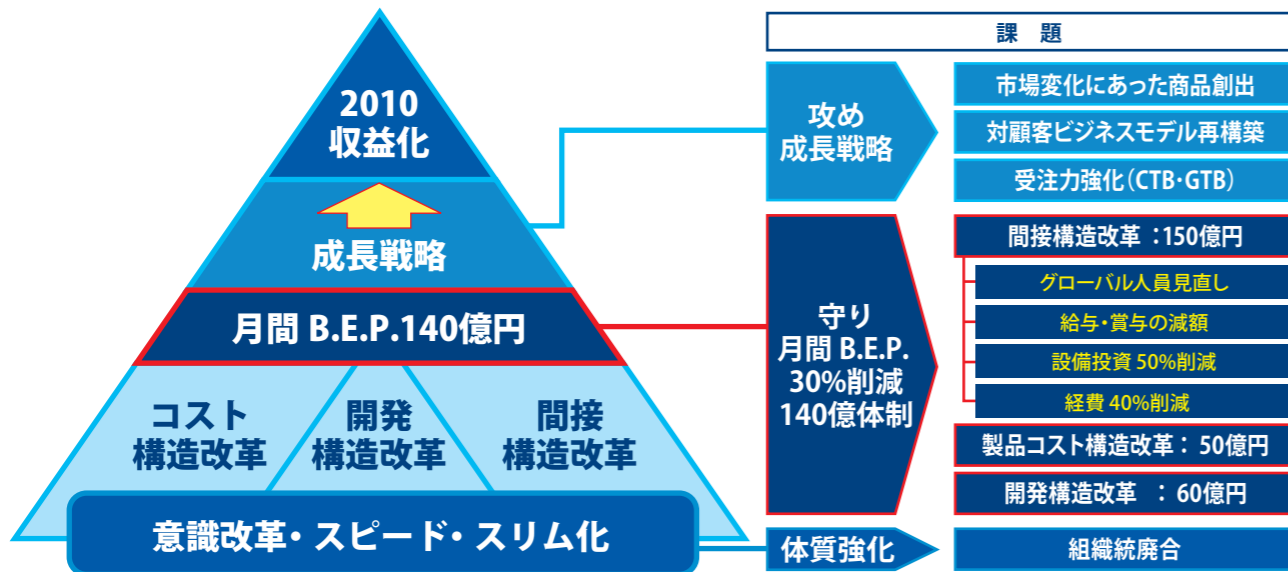


当カーエレクトロニクス業界におきましても、全世界同時不況の影響を受け、自動車メーカー向け純正品の受注が、大幅に減少致しました。その結果アルパインの連結売上高は前期比22%減の1,966億円となりました。依然として経済の低迷が続くと思われる状況下、従来掲げていた2010年3,000億円に向けての体制(人員・設備・投資)を全面的に見直し、2009年、2010年共に従来計画より1,000億円減の売上見通しとなったことから、固定費削減を中心としたB.E.P.(損益分岐点)30%引下げを実施致します。

CHALLENGE30+ (プラス)の推進

CHALLENGE30+ (プラス)

当社グループでは、2008年度期初より第11次中期事業計画「CHALLENGE30」を策定し、構造改革を加速することで、収益を確保する計画を進めてまいりました。しかし、激変した事業環境に対応すべく、新たに「CHALLENGE30+ (プラス)」として、「緊急収益改善施策」および「成長戦略」を策定し、実行に移しました。この「CHALLENGE30+ (プラス)」の構造改革にて間接構造改革150億円、製品コスト構造改革50億円、開発構造改革60億円、合計260億円のコスト削減を実施致します。

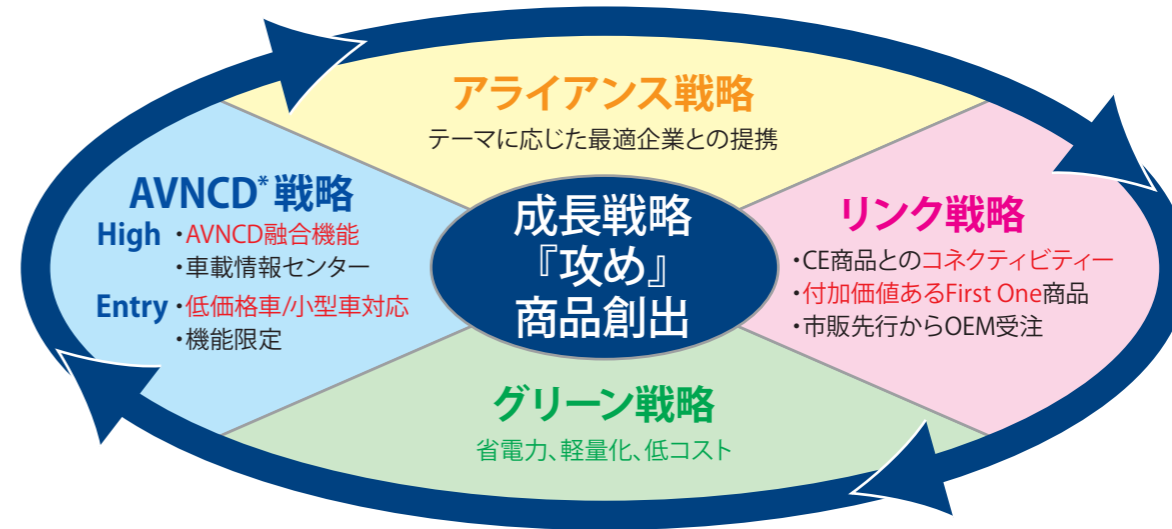


売上高減少に伴い損益分岐点を30%引下げる為の「守り」の施策に取組み、企業体質の強化を図ります。また「攻め」の成長戦略を全社一丸となって推進することで2010年売上2,000億円を目指します。

成長戦略



攻めの成長戦略



* AVNCD: Audio, Visual, Navigation, Communication, Drive assist

今後、電気自動車やハイブリッド自動車などのエコ・カーや燃費効率の高い小型車の需要が拡大すると予測されるなか、成長への基本戦略として次の4つの取組みを推進します。

1. AVNCD戦略として、従来のハイエンドモデルに加え、低価格車対応の機能を限定したエントリーモデルにも注力してまいります。
2. アライアンス戦略として、アルプスグループの要素技術を核に開発目的にあった様々な企業と提携し、競争力を高めてまいります。
3. リンク戦略として、多様化するモバイル機器との連携により、車載機器としての新たな付加価値を追求し、魅力ある商品を創出してまいります。
4. グリーン戦略として、環境対応車両への適合性を高めるため、軽量化・省電力化それぞれ50%以上の低減を目指します。